

埋蔵文化財センター 創立40周年記念事業

～ 新しい歴史を作るために ～



# 復興発掘調査展

埋蔵文化財の調査・記録・研究に40年  
岩手の歴史を掘り、そして未来へ

2018年1月26日(金)～29日(月) アイーナ5F・ギャラリーアイーナ  
9:30～19:00(※29日は12:00まで)

【主催】岩手県立埋蔵文化財センター、(公財)岩手県文化振興事業団

## ごあいさつ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、まもなく7年を迎えます。この間、甚大な被害を受けた沿岸地域の復興のため、住宅の集団移転や道路建設など数多くの公共事業が計画されました。これら復興に向けた公共事業に先立ち、膨大な数の遺跡発掘調査が急務となり、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターでは岩手県教育委員会の調整のもと、これまでに沿岸全市町村において、合計70万㎡の復興関連発掘調査を実施してまいりました。

今回は、震災発生から7年を経て蓄積された復興発掘調査の成果を一堂に集め、皆様にご紹介する展示会、報告会を開催いたします。遺跡の発掘によって新たに明らかとなった沿岸一帯の歴史について、ぜひ思いを巡らす機会としていただければ幸いです。

なお、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターは、前身となる(財)岩手県埋蔵文化財センターの設立から数え、平成29年4月をもって40周年を迎えました。本行事は創立40年を記念して開催するものです。

最後に、本事業の開催にあたり御協力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成30年1月  
主 催 者

---

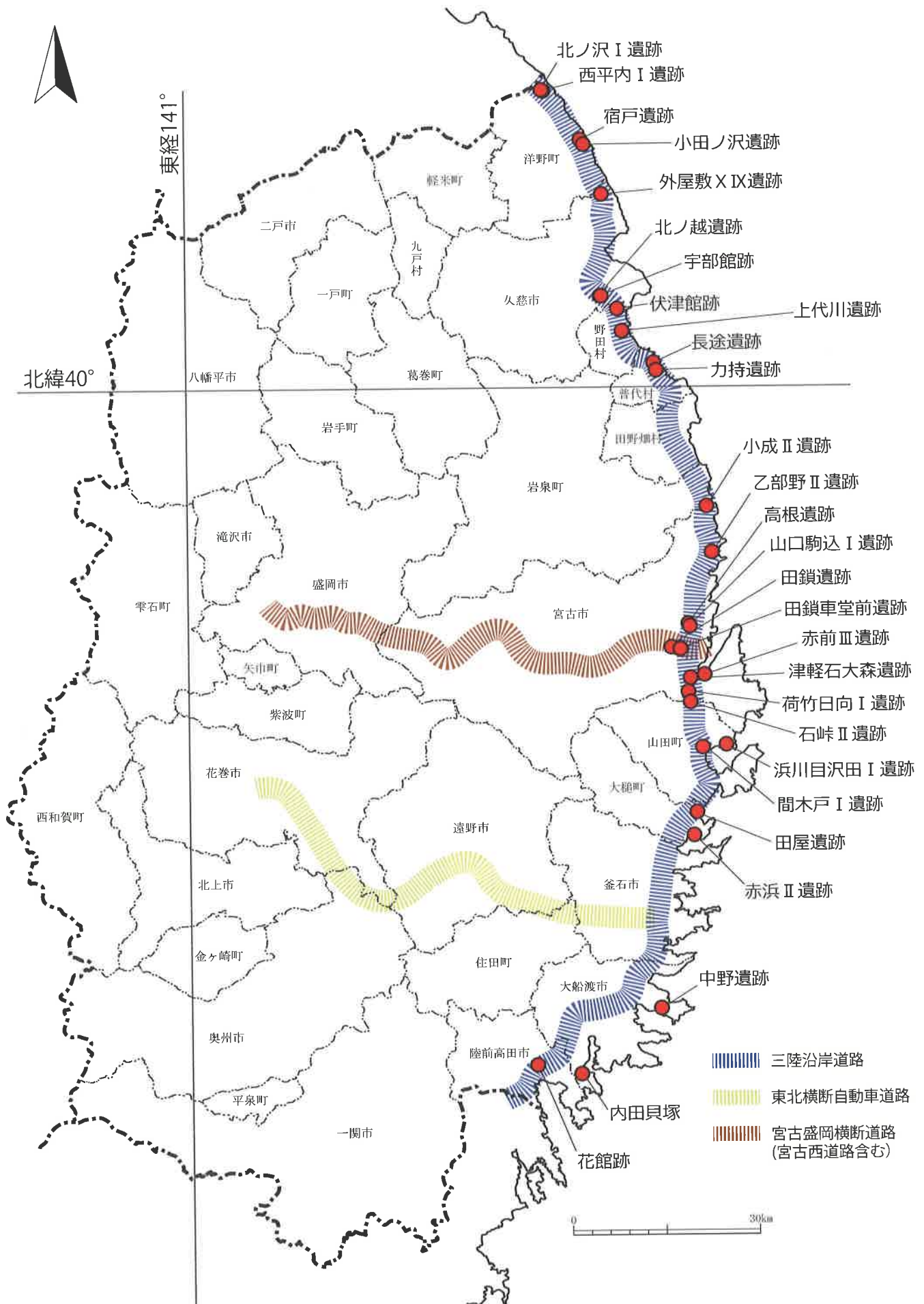
---

## 目 次

ご あ い さ つ	1	古墳時代～古代	11
展示・報告遺跡位置図	2	中世～近世	13
震災と埋蔵文化財	3	遺跡紹介	15
旧石器時代～縄文時代前期	5	講師紹介	17
縄文時代中期	7	岩手県の遺跡略年表	18
縄文時代後期～弥生時代	9		

---

---



展示・報告遺跡位置図

# 震災と埋蔵文化財

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けた三陸沿岸。人々の暮らしを立て直すため、数多くの復興関連の開発事業が必要となり、それに先立つ埋蔵文化財調査の推進が急務とされました。発掘調査は、開発事業によって失われる埋蔵文化財を記録保存するために必要な行為です。被災地においてはそれだけに留まらず、土地の来歴を探り、先人の歴史を明らかにすることが、地域を再生するために大きな意義を持つと考えます。このような意味合いから、復興関連事業に伴う埋蔵文化財調査を『復興発掘調査』と位置付けることとします。

## 復興発掘調査

復興発掘調査の件数、調査面積は莫大であり、県内の埋蔵文化財担当職員と全国からの支援職員、そして地域の方々の協力により調査が進められてきました。私ども公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターも復興発掘調査に取り組んでまいりました。

平成23～26年度における岩手県内の復興発掘調査の事業面積合計は約52万㎡ですが、当センターが担当した面積は約35万㎡であり、その約7割に相当します。今回の展示、遺跡報告会は当センターが調査を行った復興発掘調査の成果についてご紹介するものです。

## 埋蔵文化財関連施設の被害

東日本大震災の津波によって、埋蔵文化財に関連する施設も被害を受けました。陸前高田市埋蔵文化財保管庫は全壊し、収蔵されていた資料は流失、散逸しました。この資料には、当センターが調査を行い、陸前高田市に譲与した遺物も含まれていました。また、大槌町埋蔵文化財保管施設でも津波により考古資料は散逸しました。この両施設については地元の職員が中心になり、県内の文化財関係職員の協力により、資料の回収、仮施設への運搬が行われました。山田町文化財収蔵庫は、建物全体が完全に流失し、資料は全て失われ、回収作業は不可能な状況でした。



搬入された大槌町の被災資料



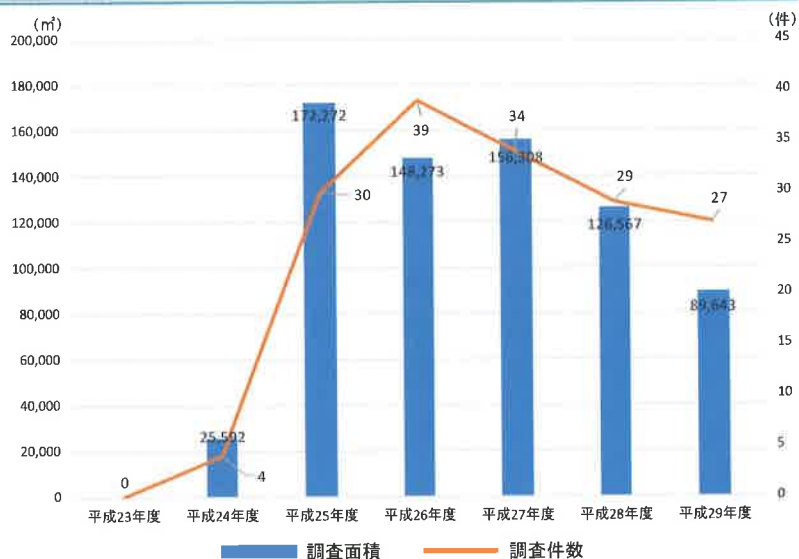
陸前高田市街に流出した当センターのコンテナ



陸前高田市埋蔵文化財保管庫における資料回収作業

## 復興発掘調査の推移

平成23年の東日本大震災発生以来、平成29年度までに当センターが行った復興事業に関連する緊急発掘調査は、163件、718,655㎡にのぼります。その調査の推移を見ると、平成25年度に30遺跡172,272㎡と急増し、平成29年にかけて緩やかに減少していることが分かります。来年度は今年度の約半数になることが想定されており、三陸沿岸道路・災害公営住宅建設等の復興事業の進捗と歩調を合わせた状況となっています。

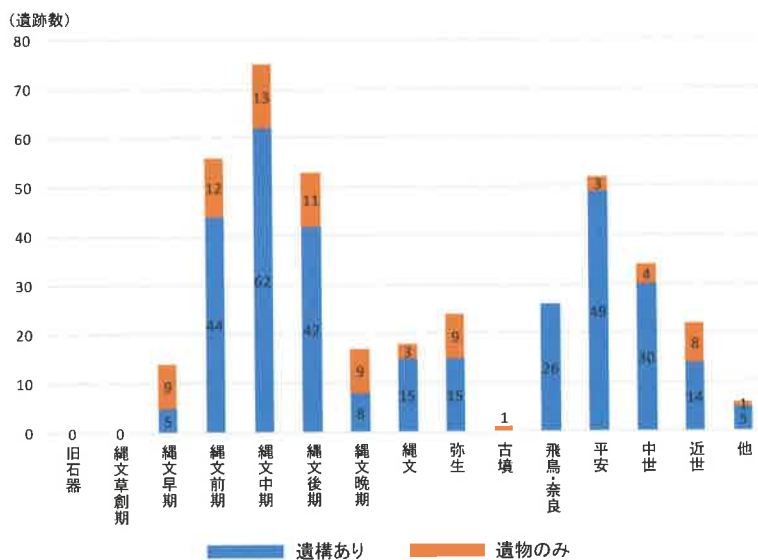


復興発掘調査の推移

## 復興発掘調査の概要

旧石器時代から縄文時代草創期の発見はなく、縄文時代前期から後期と、平安時代から中世の遺跡が数多く調査されました。

縄文時代では、久慈市外屋敷XIX遺跡<sup>19</sup>などで早期の集落遺跡が発見されたほか、宮古市高根遺跡<sup>1</sup>、山田町石峠II遺跡<sup>2</sup>・間木戸I遺跡<sup>1</sup>など、主に中期の大集落の調査が宮古市以南で多く行われました。後期に属する洋野町西平内I遺跡<sup>1</sup>では直径25mに及ぶ二重の弧状配石遺構<sup>1</sup>が発見されました。大船渡市内田貝塚<sup>1</sup>・長谷堂貝塚<sup>1</sup>、山田町沢田III遺跡<sup>3</sup>からは貝層が見つかりました。



調査遺跡の時期別件数

弥生時代では、宮古市乙部野II遺跡<sup>2</sup>、野田村上代川遺跡<sup>1</sup>、田野畑村浜岩泉III遺跡<sup>3</sup>の調査が行われ、事例が少なかった三陸沿岸部の弥生集落の実態解明が進みました。

古代～中世では、製鉄の痕跡を残す集落遺跡が多数調査されました。山田町焼山遺跡<sup>1</sup>から平安時代・中世の製鉄炉が見つかったほか、宮古市荷竹日向I遺跡<sup>1</sup>から鉄生産関連工房跡が見つかりました。

宮古市田鎖車堂前遺跡<sup>1</sup>は堀に囲まれた12世紀の居館跡であることが判明し、出土したかわらけから奥州藤原氏と三陸沿岸部との関わりをうかがうことのできる貴重な発見となりました。

中世城跡は、野田村伏津館跡<sup>1</sup>、大槌町挟田館跡<sup>1</sup>、陸前高田市高田城跡<sup>1</sup>・花館跡<sup>1</sup>などで調査が行われ、建物跡や遠隔地からもたらされた陶磁器などが出土しました。

## 旧石器時代～縄文時代前期

そとやしき 19

### 外屋敷XIX遺跡 久慈市 縄文時代早期

久慈市侍浜町桑畑に所在する集落遺跡です。今からおおよそ9,000年前、青森県と秋田県境に位置する十和田湖火山が噴火し、その際に降下した火山灰(十和田南部浮石)に集落は覆われました。その火山灰を取り除いて見つかった竪穴住居からは、当時の生活道具が数多く見つかりました。この時期の土器は、尖った底部を持ち、貝殻の縁や背で描く文様を特徴とします。石器は、狩猟具の石鏃、加工具の石篋や打製石斧が出土しています。



火山灰が堆積した縄文早期の竪穴住居

しゅくのへ

### 宿戸遺跡 洋野町 縄文時代早期～前期

洋野町宿戸漁港から約500mに位置し、標高約35～50mの丘陵地に立地する縄文時代の集落です。太平洋を広く眺めることのできる高台からは主に早期から前期の竪穴住居が、斜面地からは陥し穴が見つかりました。住居の窪みに溜まった土層からは、十和田南部浮石と考えられる火山灰が見つかりました。そのため、この竪穴住居は火山灰の降下より古い時期に作られたと考えられます。この時期の縄文集落は洋野町では初めての発見で、貴重な事例です。



縄文早期の竪穴住居

おさんど

### 長途遺跡 普代村 縄文時代前期

普代村白井海岸に隣接する縄文時代と弥生時代の遺跡です。今から約5,250年前に十和田湖火山が噴火し、その際降下した十和田中掬火山灰に集落が覆われました。その火山灰を取り除いたところ、竪穴住居、土坑、当時の湿地が見つかりました。なかでも土坑からは、棒状礫を入れて伏せた状態に置かれた土器、完形に近い土器等が出土しています。これらの土器は、埋葬された副葬品か骨壺の可能性があり、土坑の中には、集落内に作られた墓壙と考えられるものもあります。



縄文前期の墓壙

こだのさわ  
**小田ノ沢遺跡** 洋野町 縄文時代前期

洋野町に所在する縄文時代前期の集落です。太平洋へと張り出す標高50m前後の丘陵に形成されています。頂部には径7～8mの大きな竪穴住居、北斜面には土坑群が見つっています。それらと共に底が尖った土器や石鏃・尖頭器などの石器が少量ながら出土しています。遺構の配置からは、住む場所と貯蔵する場所が決められた上で、集落が造られていたことがうかがえます。

た や  
**田屋遺跡** 大槌町 縄文時代前期

沿岸南部の大槌町浪板海岸に隣接する縄文時代や古代の遺跡です。十和田中樞火山灰降下前後の地層から土器や石器が見つかりました。展示した土器は、口縁端部に斜めの刻目を持つことを特徴とし、青森県域や岩手県北部に主に分布します(青森県階上町の遺跡名をつけて白座式土器と呼ばれています)。このような土器の存在が、北方との交流を探る手掛かりになります。

うちだ かいづか  
**内田貝塚** 大船渡市 縄文時代前期

大船渡湾の南西岸に面した、丘陵裾の斜面に立地する貝塚遺跡です。標高は40m前後で、海面から見れば非常に高い場所です。広さ約50㎡、厚さ約30cmの貝層が広がっており、大量の貝や魚骨、縄文土器や石器が出土しました。貝はスガイやイシダタミ、レイシガイなどの小さな巻き貝が多く、イガイやカキなども含まれます。骨はマグロが多く、イルカやアシカ、シカ、イノシシも見つっています。骨角器(釣針・骨針)や貝輪も出土しています。



貝層から出土したマグロの椎骨

きたのさわ 1  
**北ノ沢1遺跡** 洋野町 縄文時代前期

洋野町に所在する縄文時代前期から中期の過渡期の遺跡で、太平洋へと流れる沢の右岸、標高54m前後の丘陵にあります。沢に面した斜面から土器の捨て場や埋設土器などが見つかりました。土器の多くは北東北に分布するバケツ形をした円筒土器で、狭い範囲に多量の土器が集中していました。斜面上には平坦面があり、当時の集落が広がっていたものと予想されます。



土器捨て場の様子

## 縄文時代中期

### ちからもち 力持遺跡 普代村 縄文時代中期

三陸沿岸北部の普代村力持海岸に隣接する遺跡で、当時この地域の拠点的な集落であったと考えられます。特色の一つとして北の円筒土器と南の<sup>だいぎしき</sup>大木式土器の混在があげられ、両土器群の分布境界が北緯40°線付近という従来の説を証明するかのよう<sup>2</sup>に、1軒の竪穴住居から双方の土器が一緒に出土しました。別々の土器を作る2つの集団が同居していたのか、あるいは土器の作り手がその出自を土器作りに表現したのか、社会的背景を探る上で興味深い情報が得られました。



縄文中期の石囲炉

### こなり<sup>2</sup> 小成II遺跡 岩泉町 縄文時代中期

小成川に面した標高約40mの谷底平野に立地する、縄文時代中期後半から終わり頃を中心とする集落跡です。2,000㎡に満たない調査面積で、38棟の竪穴住居が見つかりました。このほか土坑や溝などがあります。竪穴住居は、いずれも円形や楕円形で、中央から壁際に石組の複式<sup>ふくしきろ</sup>炉を備えたものが多数検出されました。これまで岩泉町沿岸部の<sup>おもと</sup>小本地区ではこの時期の調査事例が少なく、この空白を埋める上でも重要な遺跡の一つです。



縄文中期の竪穴住居

### こうね 高根遺跡 宮古市 縄文時代中期

宮古市街地から北西方向にある山口地区に所在し、山口川に面した丘陵の先端に立地します。調査地は南北に長く、東西方向に延びる複数の尾根とそれに挟まれた谷を含み、40m以上の高低差があります。調査の結果、<sup>きゅうしゆん</sup>急峻な地形に立地する大規模な集落跡であることがわかりました。時期の中心は中期の中頃です。最大の特徴は、500基を超える<sup>ちよせうけつ</sup>貯蔵穴が斜面に広がっていることにあります。貯蔵穴の数は、復興発掘調査のみならず、これまで岩手県内で調査された中では最大級のものです。



斜面に広がる多数の貯蔵穴



いしとうげ 2  
**石峠 II 遺跡** 山田町 縄文時代中期

津軽石川水系の荒川川沿いの標高30～50mの段丘面上に立地する集落跡です。直径約2～8mの大小様々な住居のほか、フラスコ形の土坑や陥し穴などが多く見つかりました。なかでも炉の外辺を礫で装飾したような複式炉は非常に特徴的で、少なくとも県内で同じような遺構は知られていません。遺物では、多量の土器や石器があり、なかでも河原石を利用した磨石や石皿などの石器類と、薄く剥がれる石材を利用した刃器が多く見つかりました。



特殊な複式炉を持つ縄文中期の竪穴住居

やまぐちこまごめ 1  
**山口駒込 I 遺跡** 宮古市 縄文時代中期

宮古市北西部を流れる蜂ヶ沢川に面する丘陵先端部に立地しています。丘陵の東西両側は沢になっており、標高は21～24mです。中心となる時期は縄文時代中期で、ほかに平安時代の遺構もあります。縄文時代中期の遺構には、竪穴住居や土坑などがあり、狭い範囲に遺構が密集しています。遺物は、東西両側の沢に捨てられた大量の土器をはじめとして豊富に出土しています。また、住居の床面には土器を伏せて設置した埋設土器も見つかりました。

まぎど 1  
**間木戸 I 遺跡** 山田町 縄文時代中期

山田湾に向かって北西側から延びる丘陵の先端に立地し、標高は12～34mです。縄文時代前期末から中期の集落遺跡で、3箇年の調査で約250棟の竪穴住居や多数のフラスコ状土坑が見つかりました。竪穴住居は南向きの緩斜面部に繰り返し作られており、高密度に分布します。遺物は、土器を中心にコンテナで約1,000箱出土しており、今回の復興関連調査の中では最大と考えられます。また、遺跡の南側には同時期の大規模集落である沢田Ⅲ遺跡があり、両遺跡が位置するこの一帯が当時の一大拠点であったと考えられます。



調査風景

なかの  
**中野 遺跡** 大船渡市 縄文時代中期

旧三陸町の越喜来湾に面した標高80～90mの斜面に立地する、中期後葉から末葉の大規模集落です。竪穴住居跡は60棟を超えますが、多くは重なり合った状態で見つかり、同じ場所で何度も建て直しが行われたことが分かりました。また竪穴住居には、石囲炉や複式炉と呼ばれる大きな石を組んで作った炉が付いています。住居やその周辺からは、たくさんの縄文土器や石器が出土しており、縄文人の生活の痕跡がうかがえます。また数は少ないですが、土偶の頭部や石製の垂飾品も見つかりました。

## 縄文時代後期～弥生時代

### にしひらない 1 西平内 I 遺跡 洋野町 縄文時代後期

洋野町北部の海岸から約1kmの丘陵上に立地し、縄文時代後期前葉の環状に並ぶ配石遺構群が発見されました。配石遺構群は、直径25mほどの弧を描く内帯石列、弧状に並ぶ60基余りの外帯集石遺構群の二重構造となっています。外帯の集石遺構は、下部に掘り込みを伴うものが含まれ、配石墓の可能性が高いと推定されます。また内帯に沿って配列された掘立柱建物群も検出されました。これらの特徴は北東北で盛行した「ストーンサークル」と共通した特徴があり、太平洋沿岸で初めて見つかった例として注目を集めています。



縄文後期の配石遺構群

### あかはま 2 赤浜 II 遺跡 大槌町 縄文時代後期

北側の山地を背に大槌湾へと向かう南向きの緩斜面に立地する遺跡で、標高は0～8m、海岸からの距離は約150mです。主に縄文時代後期中葉の配石遺構や遺物包含層が見つかりました。配石遺構は全体では列状になっており、大半は花崗岩の円礫を平置きしたのですが、これに加えて所々では頁岩の角礫が立石として用いられています。標高が1m台となる南東端では、斜面に沿って段状に円礫が組まれた遺構が見つっています。標高2m台に広がる遺物包含層からは、精緻な文様が描かれた土器や大型の磨製石斧、土偶などが出土しています。



縄文後期の配石遺構



出土した縄文後期の土偶

はまかわめさわだ 1  
**浜川目沢田 I 遺跡** 山田町 縄文時代後期～晩期

山田湾の北岸、標高2～7mの低地に立地する遺跡です。後期では、大量の縄文土器や石器が出土し、また数は少ないですが、土偶や土製品も見つかりました。晩期では、中葉の竪穴住居1棟と貯蔵穴があり、小規模な集落が営まれていたことが分かりました。遺構内外からは「大洞式土器」と呼ばれる縄文土器や石器が大量に出土し、土偶や石棒、石製品も見つかります。また新潟県糸魚川産のヒスイで作った勾玉が1点出土し、遠方地域との交流をうかがい知ることができます。



縄文後期の土器出土状況

おとべの 2  
**乙部野 II 遺跡** 宮古市 縄文時代後期・弥生時代前期

宮古市田老地区の丘陵上、標高130m前後の緩斜面に立地する遺跡です。調査の主要な対象は縄文時代後期初頭の大規模な集落跡ですが、これに加えて弥生時代前期の竪穴住居も10棟前後見つかりました。このうち1棟は、炭化材や焼けた土で覆われていたことから火災にあったと考えられ、完全な形に近い土器がまとまって出土しました。土器は貯蔵用の壺、調理用の甕、盛り付け用の浅鉢や高坏、非常に珍しい瓢形土器など、当時の生活様式を推測できる様々な形の土器が出土しました。



弥生前期の火災にあった竪穴住居

かみしろかわ  
**上代川 遺跡** 野田村 弥生時代中期

野田村の沿岸にある丘陵緩斜面に立地し、弥生時代の集落、古代～中世の鉄生産関連遺構等が見つかりました。弥生時代の集落跡は、円形や楕円形の竪穴住居30棟で構成されています。規模は3～5m程で床面中央部に地床炉や石囲炉が作られていました。出土した土器の年代等から、沿岸北部では珍しい弥生時代中期の集落跡と判断されます。



弥生中期の竪穴住居

## 古墳時代～古代

つがるいしおおもり

### 津軽石大森遺跡 宮古市 古墳～奈良時代

津軽石地区を見下ろす丘陵部の突端に位置する古代を中心とした集落跡です。特に飛鳥時代から奈良時代の竪穴住居が多く見つかっています。遺物は、三陸沿岸部には珍しく、須恵器やまとまった量の土師器の坏類のほか、蝦夷の儀式に使われたとされる赤彩壺も出土しています。本遺跡は「続日本紀」に記載のある「閉村」(のちの閉伊郡の範囲と考えられる)を構成する集落のひとつにあたる可能性があります。



調査区全景

たくさりくるまどうまえ

### 田鎖車堂前遺跡 宮古市 古墳～平安時代

閉伊川と長沢川によって開析された標高約7mの平野部に立地する古墳～平安時代前半の集落跡です。古代の竪穴住居は約200棟を数え、沿岸地域最大級の集落です。集落の規模は9世紀頃に最も拡大し、10世紀前半には竪穴住居の数が減少します。この集落内では広く他地域との交流をうかがわせる遺物も多く見られ、閉伊地方の地域間交流や流通の拠点としての役割を持っていたことが想像できます。



平安時代の竪穴住居

あかまえ 3  
**赤前川遺跡** 宮古市 平安時代

宮古湾の南東、<sup>おもえ</sup>重茂半島の付け根付近に位置する集落遺跡です。平成25・26年度の発掘調査では、  
竪穴住居38棟、鉄造りの工房3棟・炉3基などが見つかっており、平安時代には鉄造りを行っていた  
集落であることがわかりました。また、遺物として塩造りに使った製塩土器、釣針・銚などの漁労具  
が出土しており、鉄造りとともに塩造りも行い、宮古湾で漁を行っていたこともわかりました。



平安時代の竪穴住居



平安時代の精錬鍛冶炉

にちくひなた 1  
**荷竹日向I遺跡** 宮古市 平安時代

宮古湾の最奥部に注ぐ津軽石川の支流である七田川に開析された丘陵地に位置する集落遺跡です。  
平成26・27年度の発掘調査で、70棟を超える竪穴住居が見つかり、住居内からは鉄製品とともに羽口や  
鉄滓が多く出土しました。中には鉄を加工した際にできる鍛造剥片や粒状滓などがあり、集落内で鉄  
の生産や加工が行われた様子がうかがえます。荷竹日向I遺跡においては古代以降、鉄造りが中世ま  
で断続的に行われたことが明らかになりました。



調査区全景

## 中世～近世

### たくさりくるまどうまえ 田鎖車堂前遺跡 宮古市 12世紀

閉伊川と長沢川によって開析された標高約7mの平野部に立地する12世紀の居館きょかんです。上幅5mもある大規模な堀に囲まれた内部では掘立柱建物、竪穴建物、井戸などが見つかり、堀には土橋も造られていました。また、かわらけ、中国産の白磁はくじや青磁せいじ、渥美産・常滑産あつみ ときなめの陶器やろい、鎧こさねの小札などが出土しています。奥州藤原氏とも密接な関係を持ちながら、閉伊地方を領地としていた有力者の居館であり、沿岸地域では初の事例です。



堀西側の全景



堀の断面

### かみしろかわ 上代川遺跡 野田村 12世紀末～13世紀

野田村大字玉川に所在する遺跡です。調査の結果、平安時代末から鎌倉時代に大規模な鉄生産が行われていたことが分かりました。6棟の製鉄工房とともに見つかった排滓場はいさいばからは、製錬せいれんで排出された20トンを超える鉄滓と不要になった羽口・炉壁ろへきが大量に出土しました。遺構・遺物から、中世の岩手県沿岸北部における鉄生産の様子を垣間見ることができます。



製鉄工房

### ふしつだて 伏津館跡 野田村 15世紀前半

海岸から1.5kmほど内陸の丘陵上に造られた城館です。15世紀に造営され、その後短期間で廃絶したことが分かりました。L字形の土塁どるいに囲まれた曲輪くるわには大型の建物、南端の尾根筋には堀が築かれ、堅固な守りを呈しています。また、建物周辺からは中国製の青磁や白磁、天目などの陶磁器や琵琶びわが彫られた硯すずり、青銅製の花瓶けびょう、鍍金された目貫とぎんなど高価な品々が揃い、財力を持った有力者の居館であった可能性があります。



掘立柱建物

## はなだて 花館跡 陸前高田市 15世紀後半～16世紀

海岸から1.5km内陸にある丘陵の突端に造られた城館です。調査の結果、城館は自然地形を残し、尾根頂部にのみ鍛冶炉などの遺構が構築される15世紀後半～16世紀前半と、堀や土塁などの防御施設を大規模に造成し、主郭の中心部に建物が建てられた16世紀後半の、大きく2時期に分かれることがわかりました。遺構・遺物が乏しいことから、非常時に用いられた城館ではないかと考えられます。



調査区全景

## うべだて きたのこし 宇部館跡・北ノ越遺跡 久慈市 16世紀

宇部館跡は豊臣秀吉による奥州仕置の一環として破却が命ぜられた「野田城」であったと推測されている中世城館です。調査の結果、16世紀後半以降の特徴を持った堀や土塁などの防御施設が見つかりました。また、宇部館跡の堀を挟んで対岸に位置する北ノ越遺跡からは15～16世紀の建物や墓壇が見つかり、中世の人々の活動痕跡が明らかとなりました。



堀(宇部館跡)

## たくさり 田鎖遺跡 宮古市 中世～近世

閉伊川とその支流の長沢川が合流する田鎖地区にある遺跡です。掘立柱建物や井戸などがみつかり、多くの陶磁器類や銭貨が出土しています。なかでも12世紀の中国産陶器壺は隣接する田鎖車堂前遺跡との強い関連をうかがわせます。この他、珍しい遺物として16世紀末～17世紀前葉に瀬戸・美濃窯で焼かれた織部向付が見つかりました。また、同じ瀬戸・美濃産の志野小皿や九州北部で焼かれた唐津皿なども出土しています。

# 遺跡紹介



報告・展示した遺跡のほかにも、たくさんの遺跡を調査しました。ここでは、その一部を紹介します。



みなみかめが  
南鹿糠Ⅰ遺跡 洋野町 平成29年度調査  
奈良時代の竪穴住居。火災を受けた住居には炭化材や多くの遺物が残されていました。



すげのくぼながやがまえ  
菅窪長屋構Ⅲ遺跡 田野畑村 平成26年度調査  
作業風景。縄文時代中期と後期の竪穴住居が見つかりました。



こしたまつながわ  
越田松長根Ⅰ遺跡 宮古市 平成27年度調査  
縄文時代前期の大型の竪穴住居。作業員と比べるとその大きさがわかります。



サンニヤⅠ遺跡 洋野町 平成28年度調査  
作業風景。縄文時代の陥し穴は、人の背丈ほどの深さになるものがあります。



なかたい  
中平遺跡 野田村 平成26・27・29年度調査  
古墳の一部と考えられる円形の周溝が見つかりました。



のぼ  
野場Ⅰ遺跡 田野畑村 平成24・25年度調査  
復興発掘調査はこの遺跡から始まりました。調査は雪の降り積もる12月も行いました。



きといな  
木戸井内Ⅵ遺跡 宮古市 平成26年度調査  
現地説明会。細い尾根上から、弥生時代の竪穴住居が見つかりました。





おいさわあなた  
根井沢穴田Ⅳ遺跡 宮古市 平成27～29年度調査  
実測作業風景。遺構の実測図作成には、デジタル機器も導入し迅速かつ正確に記録します。



かわはん  
川半貝塚 山田町 平成27年度調査  
遺跡全景。海に近いこの場所からは、縄文時代前期～中期の集落が見つかりました。



やけやま  
焼山遺跡 山田町 平成25・26年度調査  
古代の製鉄炉。羽口が使用時のまま原位置をとどめている状態で見つかりました。



さわた  
沢田Ⅲ遺跡 山田町 平成25・26年度調査  
作業風景。調査が終了した部分から工事は急ピッチで進められています。



まきど  
間木戸Ⅱ遺跡 山田町 平成25年度調査  
山田町で数年ぶりに開催された現地説明会。多くの皆様にご参加頂きました。



ほうのさわ  
房の沢Ⅳ遺跡 山田町 平成27年度調査  
三陸沿岸道路はここから北へ接続されます。復興調査のほとんどは、この沿線に位置します。



ほせどう  
長谷堂貝塚 大船渡市 平成28・29年度調査  
縄文中期後半の扁平な石を組んだ特殊な配石遺構。このほか貝層なども見つかりました。



たかじょう  
高田城跡 陸前高田市 平成26・27年度調査  
城跡の調査は、大規模工事のような作業となることが多く安全対策にも努めました。

埋蔵文化財センター 創立40周年記念事業

## 公開講座

『新しい歴史を作るために  
～復興発掘調査から見えてきたもの～』

熊谷 常正 先生 【盛岡大学文学部教授】

2018年1月28日(日)  
14:30～

アイーナ7F  
小田島組☆ほ～る

### プロフィール

【経 歴】 岩手県千厩町出身 1952年生まれ  
國學院大學文学部卒  
岩手県立博物館主任専門学芸員等を経て  
1995年から盛岡大学文学部助教授  
2001年から盛岡大学文学部教授  
現在文学部長

【専 門】 考古学(縄文時代、考古学史)

【主な著書】・『南小梨蛇王遺跡』1978 千厩町教育委員会  
・『根井貝塚発掘調査報告書』1987 岩手県立博物館  
・『南部北上高地における粘板岩系石器の研究』2013  
・「岩手県における縄文前期土器群の成立」  
『岩手県立博物館研究報告』第1号 1983  
・「門前式土器の検討」  
『岩手県立博物館研究報告』第4号 1986  
・「持川遺跡とその周辺」『盛岡大学紀要』第22号 2005  
・「東日本大震災による遺跡被災とその課題」  
『岩手史学研究』第93号 2012  
・「第三章 地域の様相 二 東北」  
『講座 日本の考古学3 縄文時代 上』2013 青木書店  
ほか多数



熊谷 常正 先生  
(盛岡市芋田沢田IV遺跡にて)

# 岩手県の遺跡略年表

年代	時代区分	主な事柄	主な復興調査遺跡	県内の主な調査遺跡	主な国・県指定遺跡	
BC 10,000年 8,000年 4,000年 3,000年 2,000年 1,000年 300年	旧石器時代	大型動物が生息する		遠野市金取遺跡 金ヶ崎町柏山館跡 西和賀町大台野遺跡 久慈市早坂平遺跡 岩泉町竜泉新洞遺跡 盛岡市大新町遺跡 軽米町馬場野Ⅱ遺跡 住田町蛇王(蔵王)洞穴遺跡 盛岡市芋田沢Ⅳ遺跡		
	縄文時代	草創期	気候が温暖になる 土器の使用が始まる		二戸市馬立Ⅰ遺跡 山田町沢田Ⅰ遺跡 普代村力持遺跡 八幡平市長者屋敷遺跡	(県) 大船渡市関谷洞窟 (国) 遠野市綾織新田遺跡
		前期	大規模なムラができる 漆の本格的な使用が始まる	久慈市外屋敷Ⅸ遺跡 洋野町宿戸遺跡 普代村長途遺跡 洋野町小田ノ沢遺跡 大槌町田屋遺跡 大船渡市内田貝塚 洋野町北ノ沢Ⅰ遺跡 普代村力持遺跡 岩泉町小成Ⅱ遺跡 宮古市高根遺跡 山田町石峠Ⅱ遺跡 山田町間木戸Ⅰ遺跡 大船渡市中野遺跡 洋野町西平内Ⅰ遺跡 大槌町赤浜Ⅱ遺跡	盛岡市上八木田Ⅰ遺跡	(国) 奥州市大清水上遺跡
		中期		山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡	九戸村田代遺跡	
	後期			紫波町西田遺跡 盛岡市山王山遺跡 盛岡市柿ノ木平遺跡 一関市清水遺跡 平泉町新山権現社遺跡 軽米町長倉Ⅰ遺跡 盛岡市川目A遺跡 大船渡市上鷹生遺跡 八幡平市曲田Ⅰ遺跡 北上市大橋遺跡 北上市金附遺跡 一関市谷起島遺跡 滝沢市湯舟沢遺跡	(国) 宮古市崎山貝塚 (国) 一戸町御所野遺跡	
	晩期	亀ヶ岡文化が広がる		盛岡市市目A遺跡 大船渡市上鷹生遺跡 八幡平市曲田Ⅰ遺跡 北上市大橋遺跡 北上市金附遺跡 一関市谷起島遺跡 滝沢市湯舟沢遺跡	(国) 北上市八天遺跡	
	弥生時代	稲作が始まる 金属器が使用される 卑弥呼が邪馬台国王となる	宮古市乙部野Ⅱ遺跡 野田村上代川遺跡		(国) 大船渡市大洞貝塚	
	AD 300年 400年 600年 800年	古墳時代	大和朝廷が国家統一を進める 古墳が各地につくられる		奥州市高山遺跡	
			仏教が伝わる 聖徳太子が摂政となる 大化の改新がおこる		奥州市中半入遺跡 北上市猫谷地遺跡 奥州市膳性遺跡 花巻市熊堂古墳 宮古市長根Ⅰ遺跡 山田町房の沢Ⅳ遺跡 奥州市杉の堂遺跡	(国) 奥州市角塚古墳 (県) 矢巾町藤沢蝦夷森古墳 (国) 北上市江釣子古墳群 (県) 岩手町浮島古墳群
		奈良時代	奈良に都がつくられる	宮古市津軽石大森遺跡	盛岡市台太郎遺跡 軽米町色角子久保Ⅳ遺跡 宮古市島田Ⅱ遺跡 二戸市飛鳥台地Ⅰ遺跡 一関市河崎の柵擬定地	(国) 奥州市胆沢城跡 (国) 盛岡市志波城跡 (国) 矢巾町徳丹城跡 (国) 金ヶ崎町島海柵跡
古代		京都に都がつくられる 胆沢城や志波城がつくられる 各地に荘園が広がる	宮古市田鎖車堂前遺跡 宮古市赤前Ⅲ遺跡 宮古市荷竹日向Ⅰ遺跡			
1,000年 1,200年 1,400年 1,600年	平安時代	前九年合戦がおこる 後三年合戦がおこる	宮古市田鎖車堂前遺跡	奥州市接待館遺跡 奥州市衣の関道遺跡 平泉町柳の御所遺跡	(国) 柳の御所・平泉遺跡群 (国) 一関市骨寺村荘園遺跡	
	鎌倉時代	奥州藤原氏の滅亡 鎌倉幕府の成立	野田村上代川遺跡	盛岡市繁Ⅲ遺跡		
		元寇がおこる 室町幕府の成立		花巻市笹間館跡 一戸町一戸城跡 紫波町柳田館跡 久慈市久慈城跡		
	室町時代	応仁の乱がおこる	野田村伏津館跡 陸前高田市花館跡 久慈市宇部館跡・北ノ越遺跡	遠野市籬館跡 宮古市山口館跡 奥州市北館跡	(国) 二戸市九戸城跡 (国) 盛岡市盛岡城跡	
1,800年 1,900年	戦国時代	豊臣秀吉が全国統一する 関ヶ原の戦いがおこる			(国) 北上市・金ヶ崎町南部領伊達領境塚	
	近世	江戸幕府の成立 鎖国が始まる	宮古市田鎖遺跡	紫波町栗田Ⅲ遺跡	(国) 釜石市橋野高炉跡 (県) 釜石市栗林銭座跡	
近代	明治	大政奉還が行われる 明治維新		遠野市佐比内鉄鉦山跡 住田町子飼沢Ⅱ遺跡	(国) 奥州市高野長英旧宅	

埋蔵文化財センター 創立40周年記念事業 復興発掘調査

# 公開講座・遺跡報告会

2018年1月28日(日)

アイーナ7F

小田島組☆ほ〜る

大船町 赤浜II遺跡

## ◆ プログラム ◆

9:30 開 場

9:50 開 会

10:00 遺跡報告会

震災と埋蔵文化財調査 羽柴 直人 主任文化財専門員  
旧石器時代～縄文時代前期 村 木 敬 文化財専門員  
縄 文 時 代 中 期 北村 忠昭 文化財専門員

11:50

休 憩

13:00

縄文時代後期～弥生時代 須 原 拓 文化財専門員  
古墳時代～平安時代 福 島 正和 文化財専門員  
中 世 ～ 近 世 杉沢 昭太郎 主任文化財専門員

14:30 公開講座

『新しい歴史を作るために ～復興発掘調査から見えてきたもの～』  
盛岡大学文学部教授 熊谷 常正 先生

15:50 閉 会

16:00 閉 場

編集・発行 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185

☎019-638-9001

E-Mail : [i-maibun@iwate-echna.ne.jp](mailto:i-maibun@iwate-echna.ne.jp)

URL : <http://www.iwate-maibun.jp/>

印 刷 (株)吉田印刷

